



日本の自然100選に選ばれている高隈山の南西中腹、標高500mの地に県内唯一の乳用牛の公共育成牧場である「市営鳴之尾牧場」があります。雄大な高隈山系を背景に、青空との対比が美しいスイス風の赤屋根の建物と牧草地があり、まさに牧歌的な雰囲気を感じることが出来ます。

鳴之尾牧場には、春と秋の年2回、鹿屋市を中心とした酪農家から生後6〜12か月齢のホルスタイン種のメスの子牛が入牧します。これは、広さ71ヘクタールの広大で傾斜地のある牧草地に放牧することで、出産や搾乳に耐える足腰の強い健康な牛に育てること、酪農経営の育成部門を鹿屋市が引き受けることで、酪農経営の効率化を図ることを目的としています。牧草地は21区画に分けられており、放牧された子牛は牧草を食べ尽くす2〜3週間おきに区画の



▲牛の足に装着した送信機
送信機から受信機へ毎時間データを送信。歩数情報や発情開始時間などをリアルタイムで把握

移動を繰り返します。牧場では平均14か月ほど過ごし、その間に授精を行い出産が近付くと預けた酪農家の元に帰ることになります。

現在、鳴之尾牧場ではICT機器を活用した畜産分野のスマート農業も実践されています。牛の足元に取り付けたセンサーにより、牛の活動を24時間監視。可視化されたデータを、牛の健康状態の把握や病気やけがの早期発見、また授精適期の把握に活用しています。今後も、引き続きスマート畜産技術を活用し、効率的な牧場運営を目指していきます。

！ 赤屋根の建物は何の施設？

牧場のシンボルとなっている赤いトンガリ帽子の施設は、研修館です。昭和41年に鳴之尾牧場を開設した後の昭和60年、主に畜産振興を目的に、現地研修の場とするため整備したものです。



お手数ですが
63円切手を
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや

KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

ご住所 □□□-□□□□

歳 男・女
プレゼント 要・不要

クイズの答え

POST CARD

皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合があります。

〒893-8501
鹿屋市共栄町 20-1
政策推進課
「読者のひろば」係
☎ 0994-31-1123